

氏名

ハブ	マナブ
土生	学

所属	九州歯科大学 生体機能学講座 顎顔面外科学分野		
職名	講師		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科修了	学位	歯学博士

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	口腔外科学Ⅰ・Ⅱ	0.45 単位 6.0 時間 72.0 時間 歯学部歯学科
	顎顔面外科学ベーシック治療学	0.33 単位 時間 10.0 時間 大学院歯学研究科
	顎顔面外科学ベーシック診断学	0.33 単位 時間 10.0 時間 大学院歯学研究科
	顎顔面外科学1・2・3	0.58 単位 9.0 時間 時間 大学院歯学研究科
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）	医療部会WG委員	
研 究 分 野		口腔外科学
研究課題	課題名	(1) AIを用いた粘膜疾患自動診断システムの開発 (2) 口腔癌頸部リンパ節転移関連遺伝子の検索 (3) 蛍光観察装置を用いた薬剤関連顎骨壊死領域のリアルタイム描出法
	キーワード (5つまで)	粘膜疾患 AI 頸部リンパ節転移 蛍光観察装置
	共同研究等の 実績	(1) 九州工業大学脳情報学分野, (株)ブラテックとの共同研究 (3) (株)松風との共同研究
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (最新の5編)	A simple sandwich technique using buttons combined with a tie-over technique for an intraoral split-thickness skin graft. Journal of Oral Science/Volume 63. 2021.	
	Depth of invasion determined by magnetic resonance imaging in tongue cancer can be a predictor of cervical lymph node metastasis. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2021 Feb;131(2):231-240.	
	Administration of Geranylgeraniol Rescues Denervation-induced Muscle Atrophy via Suppression of Atrogin-1. In Vivo. Sep-Oct 2020;34(5):2345-2351. 2020.	
	Real-time evaluation of swallowing in patients with oral cancers by using cine-magnetic resonance imaging based on T2-weighted sequences. Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral Radiology Volume 130, Issue 5, November 2020, Pages 583-592. 2020.	
	Mx1 Heterozygosity in Mice Enhances Susceptibility to Phenytoin-Induced Hypoxic Stress Causing Cleft Palate. The Cleft Palate-Craniofacial Journal 1-10 th 2020.	
産学官連携実績 (主要3件)	H31年度 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS) 助成金 (株)ブラテック共同研究	
	R3年度 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS) 助成金 (株)ブラテック共同研究	
産学官連携 可能・希望分野	AIを用いた画像診断, 仮想現実による手術支援, 遠隔診断処置	
取得した実用新案特許等 (主要5件)	口腔粘膜疾患診断支援システム, 方法及びプログラム 特許第6935663号	
所 属 学 会 (主要5件)	日本口腔外科学会 日本顎変形症学会 日本顎関節症学会 日本歯科心身症学会 日本口腔診断学会	